

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	(株)ゆうゆうヘルプサービス 放課後等デイサービスわいわい俱楽部	公表日	令和 7 年 4 月		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい 7	いいえ	工夫している点 活動内容でレイアウトを変えたりスペースの確保に取り組んでいる。	課題や改善すべき点
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい 7		利用定員に合わせ職員を配置している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	はい 6	いいえ 1		バリアフリー化にはなっていないが子供たちが安全に整理整頓できるよう棚を設置中。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	はい 7		活動内容でレイアウトを変えたりスペースの確保に取り組んでいる。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい 5	いいえ 2		間取りの関係で個別室はないが事務所を一時的に使用することも出来る。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	はい 7		会議にてヒヤリハット事例や振り返り情報の共有をしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい 7		定期的にアンケートをお願いしている。年2回（3月・9月）。意向に沿えるよう業務改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい 7		意見しやすい環境を心掛けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい			現状行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい 7		研修内容にあった職員が参加。研修内容の共有を図っている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい 7		ホームページ内で公表している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	はい 7		モニタリング面談を実施。保護者様の意向、本人の希望を計画書に盛り込んでいる。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい 7		毎月の会議で参加職員で共有検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい 7		毎月の会議で職員が内容を共有。支援に活かしている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい 7		適切なツールを利用。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	はい 5	いいえ 2		現在「本人支援」が中心となっている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい 7		スタッフが意見を出し合い作成。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	はい 7		いろんなことが経験出来るよう、スタッフで意見を出し合っている。	

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別で集中して行う活動、集団で楽しむ活動などそれぞれで学べるソーシャルスキルをバランスよく組み合わせ計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		送迎時間もスタッフ全員が確認し当日の変更情報や支援の内容も打ち合わせてしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		時間的に難しい時は翌日に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		その日の記録(日報)にて支援内容の確認など改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリング会議でその子の最近の様子、支援に対しての結果等話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			理解がさらに深まるように。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子供たちで考え行動することを遊びの中で取り入れられるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		子供の状況に精通したスタッフが参加。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		以前他事業所との交流がありましたが現状難しい状態。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		先生方と送迎時に話をしたり、必要な時は電話で連絡をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			事業所との連携はあるがその他は保護者様からの情報となっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		担当者会議に参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		現状機会が無い状態。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	2		公園等で一緒に遊ぶ機会はあるが交流活動とまでは言えない程度。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		固定の職員になっている。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎日の送迎時保護者様に今日の出来事を伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		今後取り組んでいきたいと考えています。
・	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		半年に一度面談の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		計画書を見て同意署名を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		モニタリング面談以外でもご要望があれば面談対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			保護者会を開催しているがきょうだい児に対する支援はしていない状況。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		契約時に説明し周知を促している。連絡があった場合聞き取り等迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月お手紙配布。公式LINEにて迅速な連絡を心掛けインスタグラムやホームページで活動内容が閲覧できるようになっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		SNS等厳重に編集、個人を特定できる廃棄書類はシュレッダー処理しその個人情報書類は鍵付き棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		毎日の送迎時や連絡帳にて連絡。インスタグラムなどで活動内容見ていただけるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		地域のイベントに参加していましたが今現在予定がない状態。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルは保護者会で閲覧でき、職員も会議で読み合せるなど周知できているのですが訓練は予定の段階。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			BCPも会議で読み合せるなど周知できているのですが訓練は予定の段階。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者様からの連絡をスタッフ全員で共有。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				食物アレルギーの利用者が現状いない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			日々の安全管理は支援前後に確認共有出来ているが、研修訓練が不十分な状況。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			保護者様に内容についての説明が出来ていない状況。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		毎月の会議で共有。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修に参加し毎月の会議でマニュアルの読み合わせ、議題を作成し話し合っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			身体拘束が必要な利用者なし